

2020年12月24日  
AZAPA 株式会社

## プロジェクト Olive、感情解析の実証基盤「ラクース」を提供開始 ～感情分析を活用するサービス開発のスピード向上とコスト削減～

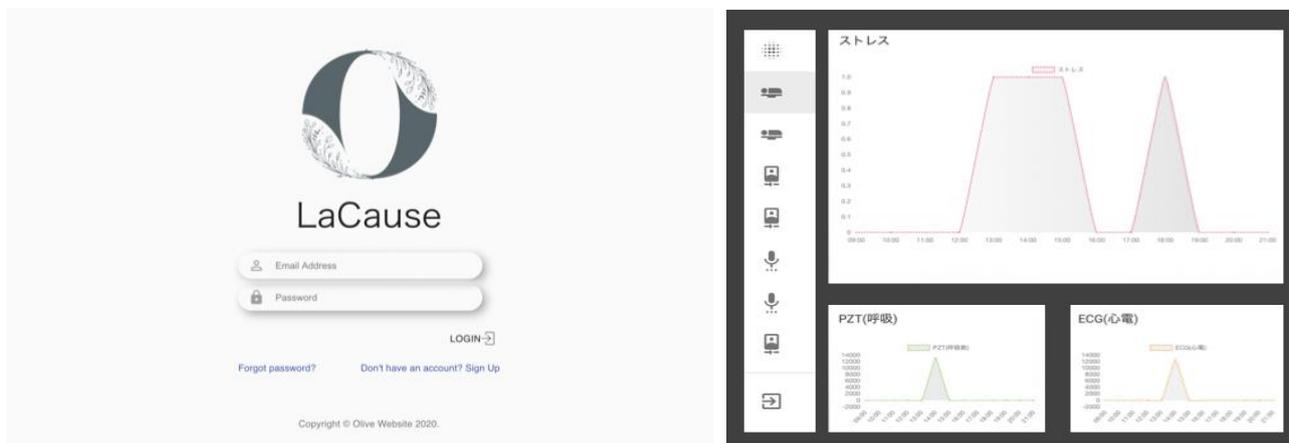


図 La Cause 利用画面

日本発のオープンイノベーションにより世界経済の維持・成長への寄与を目指す AZAPA 株式会社（本社：愛知県名古屋市中区 2-4-15、代表取締役社長 & CEO：近藤康弘、以下 AZAPA）が進める「プロジェクト Olive」は本日、同社が開発・提供するヒトの感情を可視化する技術基盤「La Cause（ラクース）」の提供を開始することを発表しました。

IoT や AI 技術により人々の快適な暮らしを実現する様々なスマート技術の開発が進む一方、ユーザーの感情を察して自律的に動作する製品やサービスの開発には至っていません。その実現には感情の定量計測が不可欠となるため、プロジェクト Olive では、ヒトの感情を可視化する技術を開発しています。システムがユーザーの感情を把握し、無意識のニーズに合わせて動作することで、これまで以上に高度化されたスマートなサービスの開発が可能になると見込んでいます。

プロジェクト Olive ではこれまで培ってきたこれらの感情分析技術ノウハウをオープン化すべく、同技術を技術基盤として提供します。これにより、あらゆる業界のサービス開発事業者は感情分析を活用したサービス設計ならびにプロダクト開発に不可欠である POC（概念検証）を容易に実施することができ、感情という新たな視点からサービス開発に望むことができます。また、開発期間の短縮、POC の早期実現、低コスト化の実現にも貢献します。

従来、サービス機能に感情解析アルゴリズムを実装する場合、入力情報やアルゴリズムに関する専門知識が必要とされるため、開発の初期段階における適切な要件定義が困難となっていました。自社のサービスやプロダクトに、どのような入力情報を与え、どのような感情を推定することが適切であるかを公平に判断する支援サービスが存在していなかったためです。そのため、音声や表情といった入力情報ごとに、専用エンジンを取り扱う IT 事業者との個別の仕様確認および設計書の作成をする必要がありました。La Cause は感情分析に関わる機能を総合的に提供し、開発の利便性を向上させます。



## プロジェクト Olive について

プロジェクト Olive（オリーブ）は、心拍数・呼吸数といった生体情報や動作・表情などの人間の表面に出ている複数の指標を数値化のうえ統合することで、刻々と変化するヒトの感性や感情を理解することを目指しています。これらの統合されたデータをプロダクトやサービスに応用することで、新しいテクノロジーのあり方やライフスタイルを提案していきます。

プロジェクト Olive <https://www.project-olive.info>

## AZAPA について

AZAPA 株式会社は、限界を超えるイノベーションですべての人が未来を選ぶ世界を実現することを理念に掲げ 2008 年設立しました。自動車業界で初の独立系 Tier0.5 プレイヤーとして、システム領域でのソリューションを提供するなど自動車を中心とする事業を展開するとともに、モデルベース、計測技術、新制御開発、コネクテッド、自動運転、感性の各分野における新システムの研究、ソリューション事業を展開しています。

AZAPA 株式会社 <https://azapa.co.jp>

## ソーシャルメディア

[Facebook](#)

[Instagram](#)

チーフ・サイエンティスト橋本一生による [Twitter](#)、[note](#)

お問い合わせ先 : [olive@azapa.co.jp](mailto:olive@azapa.co.jp)